

建設汚泥の再生利用形態別_有効利用事例5（地盤改良工事 排泥大量排出）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	基礎杭工事排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	原泥 120% → 貯泥・調泥後 80~100%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	10kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	テクノソイルCM	有機質対応型
	同上使用量 (kg)	100kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	450m ³	日最大施工量	1,600m ³	
	総量 (m ³)	245,000m ³	処理機構成	40m ³ 機×2台・25m ³ 機×1台	

【概要説明】

近隣地区に大量の建設汚泥を処理する施設がないことから、自ら利用として有効利用できる技術として採用され、工事費の低減も併せて実現した。利用目的は場内の埋め戻し材として利用。



地盤改良 (SJ-M) 施工状況



調泥後投入状況



40m³ユニット型処理プラント全景



処理土運搬・敷き均し状況